

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名		伝えよう親と子のふれあい広場				所管	区民部 子ども家庭支援センター			
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)		事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標]						[事業開始] 平成17年度			
		[小 柱]						[終了予定] - 年度			
		[施 策]									
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし						
	事業対象	区内在住の親子、妊娠中の方及び子育てを支える区民									
	事業目的	子育て中の親子、これから親になる方、そして子育てを支える区民を対象に「子守唄講習会」を開催し、親と子の絆を深め、子育てを支える区民とのふれあいを通し、子育て家庭を地域全体で応援していくまちを目指す。									
事業内容	子守唄講習会を年3回、各子ども家庭支援センター(日本堤・台東・寿)にて開催する。										
委託の有無	全部委託		委託内容	子守唄講習会の実施							
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度			
	活動指標	講習会開催数		回	3	3	3	3			
		講習会参加人数		人	380	414	467	355			
	決算額 (単位:千円)					549	549	555			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				3,363	2,975	2,005			
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				549	549	555			
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0			
		総経費				3,912	3,524	2,560			
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0			
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				275	275	278			
一般財源(区負担額)				3,637	3,249	2,282					
前回評価から改善した事項	季節の歌や親子の触れ合い遊びなどを取り入れ、区民に親しみやすい構成とした。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	核家族化が進み、子育てに負担感や不安感を抱く人が増え、地域のつながりも希薄になっている。そのような状況下、子守唄を通じて家族、地域の絆を深めていくことができる本事業の必要性は高い。								
	効率性	3	プログラム内容に変化を持たせることで、同予算内で大きい効果が得られている。また普段から利用されている子ども家庭支援センターを会場とすることにより、対象者にとって参加しやすくしている。								
	手段の適切性	3	講習会に家族で参加することで家族、地域の絆を深めることにつながる。子育ての仲間作りも推進でき、子育てを支える地域住民とのふれあいの場と機会が提供できている。								
	目的達成度	3	子守唄講習会を通して親子の触れ合いの機会が増え、親子の絆づくりに繋がっている。								
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
子育ての孤立化が進む中で、子守唄を通じて、家族や地域の絆を深めていくことができる事業であるため、引き続き実施していく。							維持				